

上海横浜友好園

上海横浜友好園

この友好園は、横浜市と上海市が昭和48年友好都市を結び15周年を記念し横浜市から「横浜上海友好館」を上海市に建築寄付したお礼として、横浜市に贈られたものです。

建設にあたっては、約3,000㎡の敷地内に中国から大部分の資材を選び建築の職人など13名が建設チームを編成し約3ヶ月かけ平成元年4月に完成したものです。この庭園と建築は、江南様式といわれ、落ち着いた雰囲気をもった造りで、北方式庭園の皇帝の権力を誇示する意図をもって造られた華麗で重厚な造りと区別されています。

庭院入口は非常に細かくしたレンガ細工で門を構え、玉蘭庁の正面には一組の太湖石を配置、舗装は卵状の石やレンガを月いた花模様を形づくっています。

池にある石灯籠は大理石で、連絡道となっている曲橋は花崗岩造りで、曲がる度に違った景観を楽しめるよう配置されています。

玉蘭庁内には、背もたれに山水画を配した椅子や家具を始め上海市から贈られた、香炉や壺、書画などを展示しています。また、竹門樓の屋根はシュロの皮で葺かれ、その先には六角形の湖心亭があり女性的な曲線をもつあずまや造りとなっています。中国の趣きを感じさせます朱色の建物や庭園と、広大で歴史の深い中国に思いを寄せてはいかがでしょうか。



開館時間

9時～16時30分

休園日

第4木曜日

12月29日～

1月3日

水上石灯籠



池中に立てられた石灯籠。純白の大理石で造られており、水面に映える。

庭院



入口にレンガ細工を施した門を構え、玉蘭庁の正面には一組の太湖石を配置、舗装は卵状の石やレンガの細片を月いた花模様を造っている。
面積約100㎡

玉蘭庁



上海の市花、ハクモクレン（白玉蘭）にちなんで命名された。庁内に清室様式の家具、大理石で山水画を背もたれに掛けた椅子や陶器（壺やヒスイの香炉）が展示されている。
面積約45㎡・高さ5.3m・木造

竹門樓



孟宗竹で造られた門で屋根はシュロの皮で葺かれた珍しい門。

曲橋・湖心亭



玉蘭庁－湖心亭－竹門樓をつなぐ伝統的な曲橋。橋面、支柱とも花崗岩で、曲がる度に違った景観が楽しめる贅沢な造り。
延長約50m・幅1.8m
池上に設置された湖心亭は、六角形で二層の屋根をもち女性的な曲線をえびき、三深園の「三重の塔」との調和を配している美しい建物。
面積約12㎡・高さ8.4m・木造

展示品

